

# 横山幸次

区政報告  
ニュース

575

2015年5月31日 発行 日本共産党区議団

3802-4627

fax 3806-9246

メール arajcp@tcn-catv.ne.jp

町屋相談室

荒川区町屋5-3-5

3895-0504

メール yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターをご覧下さい。横山幸次で検索して下さい。

## 議長、各委員会などの配置が決まりました

5月26日、荒川区議会・開会議が開かれました。会期は、来年4月28日まで年間を通じたものになります。この日は、区議会議員選挙後はじめての開会日で、議長・副議長の選挙を行いました。また、常設の常任委員会と必要に応じて設置する特別委員会について、下表のようになります。

横山幸次区議は、久々に福祉・区民委員となりました。

医療、介護、福祉、

議長  
副議長  
監査委員  
【自民】音藤泰紀  
【公明】保坂正仁  
【自民】守屋誠

小林行男  
横山幸次  
安部キヨ子  
音藤邦子  
中島和男  
音藤邦子  
安部キヨ子  
音藤邦子  
小島和男  
相馬堅一

茂木弘  
若林清子  
守屋誠  
菅谷元昭  
若林清子  
並木一元  
中島義夫  
服部敏夫  
並木一元  
菅谷元昭  
小坂真三  
音藤泰紀  
鳥飼秀夫  
菅谷元昭  
北城貞治  
志村博司  
中島義夫  
服部敏夫  
並木一元  
茂木弘  
若林清子  
守屋誠

瀬野喜代  
清水啓史  
竹内明浩  
竹内明浩  
瀬野喜代  
清水啓史

音藤裕子  
小坂英二  
音藤裕子  
小坂英二

町田高  
藤澤志光  
町田高  
藤澤志光

区民生活全般に直接関わる問題を審議するだけにいつそう緊張感を持ち、みなさんの切実な声をしっかりと聞きながらがんばります。また、毎年交替を繰り返す正副議長のあり方改善など議会改革も追求していくきます。

「一身上の理由」で与党内で

議会運営委員会  
小林行男  
横山幸次  
若林清子  
小坂真三  
北城貞治  
志村博司

自民  
吉田詠子  
中村尚郎  
竹内明浩  
清水啓史

公明  
音藤裕子  
小坂英二  
音藤裕子  
小坂英二

民主市民  
町田高  
藤澤志光  
町田高  
藤澤志光



討論する横山区議

開会会議に区長から出された「議会選出」監査委員選任（自民・守屋議員）同意について、横山幸次区議が日本共産党区議団を代表して反対討論を行いました。

この同意案件は、議会の改選後に、議員の内から監査委員を選任するものですが、その選任の仕方に大きな問題があるために反対するものです。

そもそも議員から選任される監査委員については、地方自治法の運用に関する解説でも、首長はあらかじめ議会に適任者の推薦を求め、あるいは各会派の了解を求めておく等、議会と十分に調整しておくことが適当としています。

しかし、今回の選任にあたってそういうことはありませんでした。本来のあり方から逸脱した選任方法で、同意することはできません。

我が党区議団は、議会改革の提案でも、本会議前の全会派への申し入れでも明らかにしていますが、議長、また副議長、議会選出監査委員について議会全体が合意、全会派が一致できる公正で民主的な基準の下で決めることが求められると申し上げ、反対の討論といたします。

### 2015年度荒川区議会の各委員会の構成

	常任委員会				特別委員会			
	総務・企画	福祉・区民	福祉・区民	建設・環境	震災対策	健康・危機管理	観光・文化	公共施設
日本共産党 (6名)	相馬堅一	横山幸次	小島和男	安部キヨ子	小林行男	安部キヨ子	小島和男	相馬堅一
			齊藤邦子	音藤邦子	横山幸次	音藤邦子		
自由民主党 (13名)	小坂眞三	中島義夫	明戸真弓美	菅谷元昭	明戸真弓美	菅谷元昭	茂木弘	
	守屋誠	茂木弘	服部敏夫	若林清子	北城貞治	小坂眞三	若林清子	
	志村博司	鳥飼秀夫	斉藤泰紀	並木一元	志村博司	音藤泰紀	守屋誠	
公明党 (6名)	松田智子	吉田詠子	中村尚郎	保坂正仁	松田智子	吉田詠子	森本達夫	菊地秀信
	菊地秀信	森本達夫					中村尚郎	保坂正仁
民主市民 (3名)	瀬野喜代		清水啓史	竹内明浩	竹内明浩		瀬野喜代	清水啓史
元気クラブ	音藤裕子				音藤裕子			
創新政党				小坂英二			小坂英二	
改革の会		藤沢志光						
維新		町田高		町田高	町田高	藤澤志光		

（委員長 副委員長 理事）



このニュース発行時ではコンビニはオープン。下は基礎工事中のマンション建設...



三塚木材跡地のビル建設中、そしてコンビニもオープン。また町の形が変化、旭電化通り拡幅の行方は？

まちの話題あれこれ

いま旭電化通り南側へ概ね4m道路拡幅が行われる計画が進んでいます。計画では、南側に将来中高層の建物が建ち並ぶことになるといいます。現在は、道路の測量を終え、了解を得たお宅から、土地の測量に入っているようです。区は、2017年までには、80%以上のお宅の測量を終えて、都に事業認可を申請する事をめざすといいます。いま、三塚木材の跡地に12階建て約35mのマンション建設が急ピッチで進んでいます。

地には、駐車スペース付きのセブンイレブンが開店。町の姿がどんどん変わっています。今後の道路拡幅にあたっては、関係住民の要望や生活再建を第一にした対応が必要になってきます。 横山幸次

## 裏面 荒川区の保育状況、介護保険と消費税増税など

## 定例法律相談会

6月1日(月)  
7月6日(月)  
午後6時～8時  
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などを紹介します。

生活相談は、随時受け付けています。  
TEL&FAX 3895-0504  
不在時は、留守電へ、後で連絡します。  
区役所控室 3802-4627



# 新年度の荒川区保育状況は… 待機児童のカウント方法に問題

**希望園がダメで内定取り下げや求職活動中止  
隣接園で空きがあると待機児から除外…？！**

荒川区の保育状況について( - はマイナス)		2014年	2015年	増減
「不」承諾者内訳	申込者数	1,260	1,344	84
	入園承諾者数	1,041	1,041	0
	入園「不」承諾者数	219	303	84
	認証保育所	47	42	5
	保育ママ	79	82	3
	その他	単独希望など	19	11
		隣接園空きあり	44	54
		申請書類不備	8	10
		内定取り下げ	7	6
		不承諾通知必要	7	20
		求職活動中止	-	30
		合計	85	131
待機児童数		8	48	40

## 保育トピックス

「じゃんぐる保育園」への  
補助金返還請求で全額回収

**補助金返還請求で空回り**  
南千住にあった「じゃんぐる保育園」（当時）に対して、職員の架空申請などの不正行為による認証保育所の取り消しとともに、区が補助金返還請求を求めてきました。このたび東京地裁の判決があり、違約・遅延損害含めて4100万円余の回収が完了しました。この事件は、保育園の増設とともに、営利企業参入による問題点など浮き彫りにする事件だっただけに、規制緩和と子どもにとってより良い保育とは何か、改めて考える機会にしたいものです。

同数。新規園開設で、当該年度は受入れ枠の大幅拡大になりますが、次年度からは年齢進行による増加分のみとなり、今年度、町屋保育園の移転・定員増と三河島駅前のポポラーオー開設がありましたが、入園承諾者数は前年と同じです。

一方、不承諾者数は30人（前年度比84人増）で、まだまだ保育園の希望を十分満たしているとはいえま

認可保育園を希望しながら入れない303人のうち保育ママや認証保育園利用の124人の方は、多くの場合、仕方なく選択されています。（夜間・延長保育を希望して認証園だけに絞つた方もいます）

残りの保育園に入れない179人のうち待機児に力をわントしない（厚生労働省の定義）表の「その他」）内訳をみると深刻です。

「一園のみ希望」した場合も除外。  
希望園に入れないと内定取り下げし、待機児のカウンントから除外。「調査時に求職活動を中心とした場合も同様。」  
こうした中で何が起こっているのか、実態をつかみ、真に待機児童をつくらない対策が必要です。保育園整備は、まだまだです。

居住地、保育園との距離や通勤経路などによって第1～5希望までのすべての

## 消費税大増税と「引き替え」：？ 公費による介護保険料の負担軽減

介護保険料	対象者	改正	改正前	差額	人数
第一段階	非課税で老齢 福祉年金・生活 保護・世帯非課 税で本人所得 80万円以下	27,859円	31,256円	3,397円	12,079人

ほとんどホゴにされた介護保険料の軽減策		
	当初の計画	2015・16年度
第1段階・世帯全員が市町村民税非課税かつ本人年金収入80万円以下など	軽減率を50%から70%に拡大	55%にとどまる
第2段階・同80万円超～120万円	同25%から50%に拡大	今のまま
第3段階・同120万円超	同25%から30%に拡大	今のまま

することを決めました（国2分の1、都4分の1、区4分の1）。これを受け荒川区は、65才以上の保険料第一段階（非課税世帯で所得80万以下）の方約12,000人の保険料を一人年額3,300円余軽減する条例を6月区議会に提案する予定です（上左表）。

当初政府は、消費税増税対策として介護保険料の低所得者軽減策を1,100億円以上を投じて、

対象を大幅に縮小（下左表）。合わせて昨年1万円から1万5千円の給付金を今年度は、臨時給付金一人6,000円、子育て給付金は3,000円支給に削減。

消費税増税10%では格差と貧困がいつそう拡大

りになつてゐます。当初計画通りに軽減できない政府の理由は、消費税10%先送りですから、負担軽減や制度の充実を求めるべきで、際限のない消費税増税に突き進むしかありません。低所得者は、その収入のほとんどを消費に当てるしかなく、年間3330円軽減や臨時給付金6000円で増税分を補填できるわけがありません。逆に格差と貧困の拡大につながり社会保障を切り崩すことに繋がっています。やはり消費税10%増税は中止しかありません。